



文責 本宮小校長 佐久間仁

避難訓練

第二回避難訓練を行いました。

今回は、昼休み時間に地震と火災が発生したという想定で、事前の予告なしで実施しました。子どもたちは、突然の放送に初めびっくりにした様子でしたが、指示をよく聞いて、避難場所に素早く安全に移動することができました。

全体反省会では、南消防署の予防係と市の防災対策課の方からお話をいただきました。特に、今年度より市の防災対策課に勤務されている地域防災マネージャーの小齋さんからは、日頃からの訓練の大切さを教えていただきました。小齋さんは元自衛官であり、厳しい環境の中で任務を果たすために、頭で考えなくても体がひとりりで動くくらい繰り返し訓練を重ねた経験を話してくださいました。

また、避難する際に必要な物をバッグに入れてすぐに持ち出せるよう日頃から準備しておくことも大切と話されていました。子どもたちが自分の命を自分で守ることができるよう、ご家庭においていざというときの行動の仕方を常日頃から話し合っていたくようお願いします。



訓練は大事

国際理解教室



市の国際交流課の方を講師にお招きして、国際理解教室（六年）を行いました。今回講師を務めていただいたのは国際交流員として活躍されているエイミー先生です。

先生の出身地であるイングラウンドに伝わる伝説について教えてくださいました。子どもたちは、グループごとに協力しながら、先生手作りのパズルを並べ替えしたり、日本文と英文で書かれた説明文を組み合わせたたりしながら、二つの伝説についての理解を深めました。

本宮市には、プリンス・ウィリアムズ・パークがあり、毎年、中

学生が英国訪問をするなど、イギリスとは関係の深い町です。これを機に、イギリス（イングランド）に興味をもって、もっと詳しく調べてみようとする気持ちをもってくれたら嬉しいです。



エイミー先生と

意見交換会



PTA会長さん、学校運営協議会長さんと教育委員さんとの意見交換会が行われました。

会では、今年度の全国学力・学習状況調査結果や中学校部活動の地域移行について意見を交わしました。特に、中学校区ごとに行われた協議では次のような意見が出されました。

《学力について》
・ 中学校では、数学と英語で厳しい結果となった。数学と英語が低いのは以前から見られる傾向だ。
・ 中学校で伸び悩みが見られることから、小学校としてどのような

力を、どのように身に付けさせていくか試行錯誤している。

・ 文章を読む力を伸ばす取り組みを進めている。自己肯定感をいかに高めていくかが課題だ。
・ 子どものモチベーションを高め、やる気が出る環境づくりをしていくことが大切ではないか。

・ 中一ギャップに代表される問題は心理的な不安が原因ではないか。先生に任せきりにせず、地域で声をかけるなど見守ることが大切。

《部活動移行について》
・ 教員が担ってきた部活動指導の一部（土日）を地域が受け持つという方向性はよいと思う。

・ 部活動によっては地域に指導者が見つからない場合もあるのではないか。

・ 部活動への取り組みについて、生徒（保護者）によって、意識の差があるように思う。指導方針や指導方法に対する受け止め方にも個人差が出てくるのではないか。
・ 生徒、保護者に制度の趣旨を理解していただきながら、学校と地域、教育委員会が連携して地域の指導者の確保に努めていくことが大切だと思う。

※インフルエンザが流行しています。外出後の手洗い・うがいなど、週末ご家庭での感染予防をお願いします。